

地域に密着した医療現場の開放と医療機器開発情報ネットワーク拠点形成 (<https://censnet.org/> <https://ikogaku.jp>)

拠点の特徴：地域密着型、臨床現場と密着したプログラム、医療機器開発情報のDX

(東九州メディカルバレー構想事業と連動し、大分・宮崎県、地場企業と協力した産学官連携体制を構築している。臨床現場に深く立ち入った実習や、医療従事者との直接ディスカッションの機会を提供している。CENSNETを利用した医療機器開発情報のデータベース化と提供、教育・研修への応用を行っている。)

医療機器開発ニーズの提供と、ニーズ・シーズマッチング効率化のための研修

1. CENSNET：医療機器開発情報発信拠点webサイト運営



1,500名が登録、530件の医療ニーズ、42件の企業シーズを公開。オンデマンド教材、e-learningによる教育・研修、医療機器開発に関わる様々な情報をデータベース化

2. 医療機器ニーズ探索交流会

①医療機器開発ニーズ発表会：附属病院から収集・発表



ニーズ発表会

臨床背景、市場性、特許情報等に基いたブラッシュアップ

②臨床現場見学会：全30診療科が協力、手術室、ICU、



臨床現場見学会

血液浄化センター、内視鏡診療部等見学可能

③情報交換会議：個別相談会、医療従事者との
直接ディスカッション



個別相談会



情報交換会議



スキルラボセンター研修

④セミナー、講演会、スキルラボセンター研修
大動物実験室見学など

医療ビジネス研修会

ニーズ・シーズマッチングから出口戦略、法令、省令、知財管理、保険収載、臨床研究・治験 等座学

ものづくり工房運営

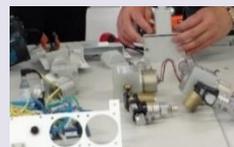
3Dプリンタ、3D CADを備えたデジタル工房と、各種工作機器を備えた手作り工房を運営

医療機器「解体しよう」：Reverse Engineering

人工呼吸器、電気メス等、廃棄処分になった医療機器を分解し部品や構成、質や精度を学ぶ

大分医療機器開発イノベーションプログラム 座談会

ものづくり企業、医師、看護師、ME、行政職員等がざっくばらんに話をする会



人工呼吸器の分解



ものづくり工房

事業実績

【臨床現場見学】(ビデオ研修を含む)

・人数 93人(4年間累計 490人)

・企業数 73社(4年間累計 359社)

【研修・助言・指導】(含オンライン)

・人数 179人(4年間累計 754人)

・企業数 141社(4年間累計 564社)

【ニーズ】

・収集件数 44件(4年間累計 197件)

・共有実績 14件(4年間累計 83件)

【シンポジウム・セミナー】

・開催回数 9件(4年間累計 16件)

・人数 176人(4年間累計 1,520人)

・企業数 117社(4年間累計 863社)

医療機器製品化

- 家庭用低周波治療器 ●両眼視機能検査装置 ●パルスオキシメーター ●穿刺痛緩和装置

特許出願

- ダブルバルーン付CVカテーテル ●直腸機能温存のためのストマ器具

▶ POCまたは臨床評価 12件

▶ 雑品・福祉機器製品化5件